

はじめに

本年度より本校では、「創造的な知性を培う」を新たな研究主題として、教育課程研究に取り組んでまいりました。また、附属長岡校園が文部科学省の科学教育の開発指定をうけ、2年目になります。科学教育の開発実践も究極的には創造的な知性を有する全人教育が目標となります。創造とは神に競わんばかりの壮大な理念です。人々がこの語に込めた意味は、絶えざる発見と革新をもたらす人知でしょう。そこには人間性へ絶対的な信頼があり、それこそが教師が忘れてはならないことであります。明日を拓く子供たちの教育に携わっているという教師たちの強い決意を感じ取ることができます。

現代社会は、急速な新技術時代の到来に直面して、教育そのものもその流れに翻弄されている感があります。時の流れに遅れないように、新技術の習得や新素材の利用に目が奪われがちです。その結果教育においても、自然との直接的な触れ合いや物事の原理原則について考えることがおろそかにされることもありました。実利、効率性の優先は社会全体の停滞感、先行き不透明感、若者が夢や希望をもてないような現実をもたらした原因ともなっています。そのような状況であればこそ、今少し歩みを緩め立ち止まって、教育全体を振り返ることも必要です。

研究主題は子供たちの学習への意欲や関心、保護者へのアンケートなど、学習成果の検証を通じて、今以上に自ら問題を見出し解決する主体性、柔軟かつ個性的で創造性に富んだ思考をもつ子供たちを育てる必要性を感じたことから生まれたテーマであります。研究を推進することにより、子供たちが、日常的な視点から、自然や社会や人間について自ら見つめ、考えることを促します。本研究はこうした研究成果の一端を公開するものです。参加者の率直なご意見、感想をお待ちしております。

本研究の推進に当たり、本学部教員、県・市教育委員会、研究協力者、旧同人、同心会の方々のご協力とご指導をいただきました。ご厚情に深く感謝申し上げます。

新潟大学教育人間科学部附属長岡小学校長

近 藤 フヂエ